




# 子どものおこづかい どれくらい?


お宅では、お子さんとお金についてお話する事がありますか?…現代はカード全盛のキャッシュレス時代、現金の出番は減りました。…と共に、お金に無関心になっていませんか?


そこで、くらし見直し講演会「子どもに聞かせたいお金のハナシ」(7月30日開催)の須原光生氏のお話を紹介します。


須原氏(以下、 S)「お金持ちになりたい人は?」


子どもたち(以下、 子) …(皆の手があがります。)


 S「…ところでお金持ちってどういう人?大きな家に住んでいる人?」

 子(うなずく)

 S「…それじゃ、お金を借りて大きな家に住んでいる人はお金持ち?」

 子「……」(この問いに、子どもたちは考えてしまいました。)


 S「ところで、今までに買って(買ってもらって)後悔したものはあるかな?」


 子「ゲーム!」


「ボーリングのおもちゃ!」


「ぬいぐるみ!」

(…などなど、どの子も、いくつかありました)

 S「一瞬の感情で手に入れて、すぐにいらなくなったら、ゴミ箱にお金を捨てたのと同じ事だよね…本当に欲しいものかどうか、時間をかけて冷静によ〜く考えることが大切だね。」

 子「はーい!」

 S「それから、欲しいものがあったても『ダメ』と言われることも多いよね。…そういう時は、月々のお小遣いを使わないで『貯める』という方法もあるよ。こうして貯めたお金で、本当に欲しいものを買うと、ものを大切に作る気持ちも大きく育つんだ。…これは大人になっても、とても大切な事なんだよ。」

 子(皆、大きくうなずいていました。)

また、須原氏が、月々に決まった額のお小遣いをもらっているか訊いたところ、「No」という子どもが多数でした。保護者対象のアンケートで「これからは、毎月お小遣いを渡して自分で管理する力を養いたい」という意見も寄せられました。

1月はお年玉をもらう季節でもあるので、お子さんとお金の大切さについて、じっくり語り合ってみませんか?

## 1ヶ月のお小遣いの額(最頻値)

～金融広報中央委員会のアンケートより～

小学校低学年……………100円

中・高学年……………500円

中学生……………1,000円

高校生……………5,000円

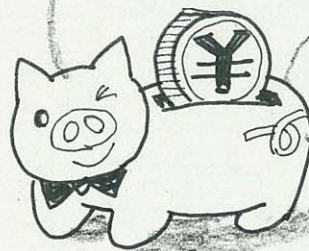
小学生の約8割がお小遣いをもらっていますが、定期的ではなく、時々もらうことが多いようです(特に低学年)。中学生や高校生でも約4割が「必要の都度もらう」と答えています。

(詳しくはホームページ「知るぽると」をご覧ください)

## 【提出者の声】より

●小学校1年生の子どもに、月に200円をお小遣いとして渡し、お金の使い方考えさせるようにしました。初めて自由に使えるお金を手にした時の、嬉しそうな子どもの笑顔が忘れられません。

●4歳の娘に、おもちゃのお金(子ども銀行)を買った時のこと。中身を見てビックリ!「Suica」と「クレジットカード」が入っているんです。…これって借金を勧めているようなもの?(Suicaは違うけど…)娘に、カードの意味を理解させるのに苦労しました。



働いて得る  
お金の大切さを  
伝えていますか?